

第14回国際ユースサッカーin新潟 最終戦績

1位: U-17メキシコ代表	3勝0敗
2位: U-17日本代表	2勝1敗
3位: U-17スロバキア代表	1勝2敗
4位: U-17新潟選抜	0勝3敗



今年もU-17新潟県選抜としてメキシコ、スロバキア、日本の3ヶ国の各代表と対戦させる内容と手ごたえを感じていただく機会をいただきました。

初戦はメキシコ代表戦、情報の少ない状況下、急造チームのコンセプトとスタイルがどれくらい通用して徹底できるかがキーポイントのゲームでした。

前半3失点で折り返し、後半粘り強く戦い、技術的には支配された

の基点に起こして、相手のポランチャはボールウオッチャー気味になるので、新潟はサイド早くボールを動かしそこから中央に基点を起こして①シンプルにサイドチェンジ



の基点に起こして、相手のポランチャはボールウオッチャー気味になるので、新潟はサイド早くボールを動かしそこから中央に基点を起こして①シンプルにサイドチェンジ

7月31日から8月7日まで行われた第34回全日本ユースサッカー大会決勝大会に参加してきました。

今大会は、6チームでの1次ラウンドを行い、上位2チームが決勝ラウンドに進出。アルビレックス新潟ジュニアは、Eグループで戦うことになりました。

愛知県代表東海スポーツ戦 1対0勝ち。

茨城県代表鹿島アントラーズ戦 0対

7月31日から8月7日まで行われた第34回全日本ユースサッカー大会に参加してきました。

今大会は、6チームでの1次ラウンドを行い、上位2チームが決勝ラウンドに進出。アルビレックス新潟ジュニアは、Eグループで戦うことになりました。

愛知県代表東海スポーツ戦 1対0勝ち。

茨城県代表鹿島アントラーズ戦 0対



この結果、1次ラウンド1勝3敗で決勝ラウンドには進出できなかった。お祝いを始めご声援、本当にありがとうございました。

最後に、新潟県サッカー協会様をはじめ、県内各地で切磋琢磨しているチームの皆様から、お祝いのご声援、本当にありがとうございました。

今後、今大会での経験を活かし選手育成、強化を行っ

2010沖縄美ら島高校総体に新潟県代表として、8月1日(日)に埼玉第一代表の西武台高等学校に1回戦で0対3という結果に終わりました。6月6日県代表決定後、北信越2部フュニオン、北信越総体、フュニオン、沖縄高校総体に挑みました。速攻と速攻の使い分け、ブロックを組んでの守備をメインとして各試合に臨み、強化をはかりました。

試合、内容は、前半立ち上がり少し攻め込まれましたが、時間が経つにつれて、攻撃のリズムを作れるようになり、前半25分西武台高等学校の選手の一発退場がきっかけで、試合を優位に戦うことができました。前半は0対0でスカウティング通りのプランで試合が進

2010沖縄美ら島高校総体に新潟県代表として、8月1日(日)に埼玉第一代表の西武台高等学校に1回戦で0対3という結果に終わりました。6月6日県代表決定後、北信越2部フュニオン、北信越総体、フュニオン、沖縄高校総体に挑みました。速攻と速攻の使い分け、ブロックを組んでの守備をメインとして各試合に臨み、強化をはかりました。

試合、内容は、前半立ち上がり少し攻め込まれましたが、時間が経つにつれて、攻撃のリズムを作れるようになり、前半25分西武台高等学校の選手の一発退場がきっかけで、試合を優位に戦うことができました。前半は0対0でスカウティング通りのプランで試合が進

夏の全国大会を終えて

アルビレックス新潟レディースU-18監督 上村 敏

夏の全国大会に初出場して

開志学園JSC高等学校監督 有田 一矢

全日本女子ユース(U-15)に出場するようになって今年で3年目ですが、昨年まで1勝もあげることができずに上位チームとの技術・精進の差を痛感して来ました。通常のトレーニングからひとつひとつのプレーにこだわって、その場の状況をしっかり判断したなかでプレーできると、準備ができてきました。浦和レッズジュニアユース

全日本女子ユース(U-15)に出場するようになって今年で3年目ですが、昨年まで1勝もあげることができずに上位チームとの技術・精進の差を痛感して来ました。通常のトレーニングからひとつひとつのプレーにこだわって、その場の状況をしっかり判断したなかでプレーできると、準備ができてきました。浦和レッズジュニアユース

全日本女子ユース(U-15)に出場し、予選リーグで東京ヴェルディ(関東第一代表)、名古屋グレイズ(東海第三代表)、そして、「止められる・蹴られる・運べる」の遠い。2つ目、個人が試合を決めきれる強力なストロングポイントを持っている。3つ目、絶対に負けたくないというメンタリティーの強さを感じた。全てにおいて大差ではないが、ちょっとです。

全日本女子ユース(U-15)に出場し、予選リーグで東京ヴェルディ(関東第一代表)、名古屋グレイズ(東海第三代表)、そして、「止められる・蹴られる・運べる」の遠い。2つ目、個人が試合を決めきれる強力なストロングポイントを持っている。3つ目、絶対に負けたくないというメンタリティーの強さを感じた。全てにおいて大差ではないが、ちょっとです。

第25回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)

アルビレックス新潟ジュニアユース監督 平岡 宏章

全国大会に出場して

開志学園JSC高等学校監督 有田 一矢

今年もU-17新潟県選抜としての2得点を返し、結果2対3で試合終了。日本代表戦に繋がる内容と手ごたえを感じていただく機会をいただきました。

初戦はメキシコ代表戦、情報の少ない状況下、急造チームのコンセプトとスタイルがどれくらい通用して徹底できるかがキーポイントのゲームでした。

前半3失点で折り返し、後半粘り強く戦い、技術的には支配された

今年もU-17新潟県選抜としての2得点を返し、結果2対3で試合終了。日本代表戦に繋がる内容と手ごたえを感じていただく機会をいただきました。

初戦はメキシコ代表戦、情報の少ない状況下、急造チームのコンセプトとスタイルがどれくらい通用して徹底できるかがキーポイントのゲームでした。

前半3失点で折り返し、後半粘り強く戦い、技術的には支配された

第34回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

初出場より

グラッセ代表 長瀬重典

このたびは、伝統ある史のはじまりだとも感じ、多くの皆様からの激励やご支援をいただきまして誠にありがとうございました。

「何事も挑戦」を合言葉に試合に挑む。結果は皆様がご存じの通り3連敗。結果は0対3でグラッセにとつては惜敗で終わった。

最終戦は愛媛FC戦。とまた、絶対によつてはいけないことなどいろいろな事を感じ学び、新潟へ戻ってきました。

次なる目標は、連続出場(全国に出場しなければ)。

このたびは、伝統ある史のはじまりだとも感じ、多くの皆様からの激励やご支援をいただきまして誠にありがとうございました。

「何事も挑戦」を合言葉に試合に挑む。結果は皆様がご存じの通り3連敗。結果は0対3でグラッセにとつては惜敗で終わった。

最終戦は愛媛FC戦。とまた、絶対によつてはいけないことなどいろいろな事を感じ学び、新潟へ戻ってきました。

次なる目標は、連続出場(全国に出場しなければ)。

第2回 KuruCo 新潟県キッズサッカーフェスティバルU-8 開催!

★平成22年9月4日(土) 聖籠スポーツセンター★

県サッカー協会主催、総合生協後援の第2回KuruCo新潟県キッズサッカーフェスティバルU-8が県内から24チーム、約300人の選手を集め開催された。

試合に先立ち、ECO活動の一環として、自然の大切さを子供達にも知ってもらう為、記念植栽を行い、試合に参加した全ての子供達に思い出となる事を願った。

試合では見事なドリブルやシュートを披露、応援団も一緒に楽しんでいました。



障害者チャレンジサッカー2010開催!

◆平成22年9月5日(日) 聖籠スポーツセンター◆



2010フットボールデー開催

サッカーディを終わって

新潟市サッカー協会 五十嵐 治

9月5日鳥屋野球場に於いて、女子サッカーをメインとして、壮年・4種の合同イベントを去年同様開催しようと思いつきました。結果的に壮年リレー、女子と小学生の10種名に依り開催しました。

女子チームは5チーム70数名でトーナメント戦方式で、全てのチームが試合以上戦える様、又小学生との交流戦等を行ない、和やかな内一日が過ごせました。

女子チームのほとんどは協会登録のしていないママさんチーム、サッカーが好きで楽しんでサッカーをやっている人達です。

市は少年・女子、壮年と競技性を第二に考え、育成(一部強化も)、普及・ポランテア等のサッカーに係わる人達を育てていこうと思っております。

今回のサッカーディは、その様な人達の為には良い事案と思っております。今後どの様な形態で行なうかを検討してより良い事業になればと思っております。



フットボールデーを開催して

上越地区 諸橋 文司

県内外の小学生(5年生以下)が熱戦を繰り広げる「第十五回上越ふれあいカップサッカー大会(八人制)」を四日・五日、新井運動公園にて開催した。

大会には、二十四チームが参加。一次リーグ、二次リーグを経て、順位決定戦を戦った。十一チームの県外チームを招待し、約五百名の選手がグラウンドを駆け回った。

決勝は、前橋ジュニア(群馬)とFCとみな(富山)が激突。前半は0-0の均衡した試合展開となったが、後半に前橋ジュニアが二得点を挙げ、粘るFCとなみを突き放し、2-0で優勝した。

暑い暑い二日間の大会は、子どもたちにとって忘れられない大切な思い出となったと確信している。また来年、六年生となり、心も体も技術も大きく成長した姿に出会えることを期待している。

参加していただいたチームの皆さん、運営に協力いただいた上越地区の関係者各位には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



フットボールデー開催!

朱鷺レディス 越田 聡子

九月五日、長岡ニュータウン芝公園でフットボールデーが開催されました。九月のお土産をもらって一番月とはいえ、真夏並みの暑さの中、百人近くの低学年の子ども達と保護者の皆さんが集まってくれました。

まずはボールを使った準備運動でアップしてから、チームを分けてミニゲームをしました。

芝生の上で、太陽の日差しを物ともしない子どもたちの歓声が青空に響いていきます。

当日スタッフとして参加していた朱鷺レディスは、保護者の立場と日焼けを忘れて、子どもとのゲームに心地良い汗を流しました。

最後に子ども達は大満足の様子。お土産をもらって一番月とはいえ、真夏並みの暑さの中、百人近くの低学年の子ども達と保護者の皆さんが集まってくれました。

まずはボールを使った準備運動でアップしてから、チームを分けてミニゲームをしました。

芝生の上で、太陽の日差しを物ともしない子どもたちの歓声が青空に響いていきます。



家族で楽しむ サッカー教室&ミニゲーム

下越地区 中村 勉

下越地区でサッカーファミリーを広げよう!という目的のもと、9月11日(土)に、JAPANAサッカーカレッジでイベントを行いました。下越地区の栗田コーチと大倉コーチ、JAPANAサッカーカレッジの白石コーチの指導のもと、(楽しくサッカーに触れ合おう)コースと、(スキルアップを目指そう)コースの2つに分かれて、サッカー教室とミニゲーム大会を行いました。

初めてボールを蹴る人、新しい技を身につけようとする人、約60名の方が、涼しくなり始めた聖籠町で爽やかな汗を流しました!



第2回新潟県ビーチサッカー大会

フットサル委員会 森 恭



第2回新潟県ビーチサッカー大会(以下第4回ビーチライフ in 新潟)は、8月22日(日)に新潟市西海岸日和山ビーチにて行われました。酷暑の続く今夏は、ビーチスポーツにとっ

ては非常に厳しいコンディションとなり、この日も気温33度を超える中、好天に恵まれたというよりは、肌を焦がす熱光線の中、22チームによる熱い戦いが繰り広げられました。

この大会は昨年第1回が行われ、この時には、ビーチでのさまざまな活動を振興しようとするビーチライフ in 新潟の一部としてのビーチサッカーイベントと、全国ビーチサッカー大会の予選となる県大会を同時に開催しました。今年、ビーチライフ in 新潟がこの日となり、翌週に全国予選となる北信越ビーチサッカー大会が行われるため、県予選にあたる部分は6月27日(日)に村上市瀬波温泉ビーチにて行われました。

ビーチサッカーは5人対5人、砂の上で裸足で行います。凸凹のある砂の上でドリブルを行うことは困難なため、ボレーやヘディング、砂にはまったボールを浮かすための「スコップ」と呼ばれるスキルなどがとても重要であるとともに、オーパーヘッドキックやジャンプボレーなどの大技もしばしば見られます。また、砂の上を走り、止まり、バランスを保つボールを扱うためには、相應の体力が必要になります。さらに、裸足で行うことから、きれいで安全なビーチがなければ試合を行うことができません。このため、選手た

ちは試合の前にビーチクリーンを行うことももちろん、普段から自然なかたちでエコロジに敏感になっていきます。

白い砂浜と青い空、圧倒的な開放感の中で行われるビーチサッカーは、自由な感覚で大技が飛び交う反面、正確なボールスキルと強靭な体力が必要とされるというスポーツとしての側面に加え、地球環境を考えるエコロジーの側面も持つサッカーです。ビーチサッカーはとても楽しく、またサッカーのトレーニングとして、エコ教育の上でも有用なサッカーです。NiFAでは来年度以降もビーチサッカー大会を主催、実施してまいります。ぜひ多くの皆様よりご参加していただき、ビーチサッカーのすばらしさとサッカーの奥深さを味わっていただければとスタッフ一同願っております。



審判委員会だより

サッカー・フットサル3級・4級の皆様

下記の日程で更新講習会を行います。更新講習会を受講されないと、資格を失効してしまいますので、2011年度も登録を希望される方は必ず受講してください。

また、2010年度に初めて登録された方、もしくは3級に昇級された方は、更新講習会の受講は必要ありません。WEB上で「更新手続き」をしていたら、登録費をお支払いください。

また、今年度も4級の皆様には、パソコン上で講習会を受講していただくJFAラーニングを設定しますので、こちらをご利用ください。

◆サッカー更新講習会日程

日時	時間	会場	定員
10月31日(日)	9:00~12:00	長岡市立劇場	100
11月23日(日)	9:00~12:00	柏崎市民プラザ	200
12月12日(日)	9:00~12:00	新潟ユニゾンプラザ	200
12月12日(日)	9:00~12:00	長岡市立劇場	100
1月16日(日)	9:00~12:00	新潟ユニゾンプラザ	450
1月16日(日)	14:00~17:00	新潟ユニゾンプラザ	450

◆フットサル更新講習会日程

日時	時間	会場	定員
10月31日(土)	14:00~17:00	長岡市立劇場	100
11月23日(日)	14:00~17:00	柏崎市民プラザ	200
12月12日(日)	14:00~17:00	長岡市立劇場	100
12月12日(日)	14:00~17:00	新潟ユニゾンプラザ	200

アクティブフェリー募集

新潟県下で活動される審判員の方々を募集いたします。4級以上の資格をお持ちであればどなたでも結構です。公式戦等で審判をやってみたい方、審判活動に興味のある方は是非ご登録ください。

サッカー日本代表 岡田前監督 講演会

会場：新潟県民会館 新潟市中央区一番堀通町3-13 TEL 025-228-4481
 日時：2010年12月10日(金) 19:00~(開場18:00)
 講師：日本サッカー協会理事 岡田武史氏(日本代表前監督)
 料金：無料
 主催：BSN新潟放送
 共催：新潟県サッカー協会
 後援：新潟県、新潟県教育委員会、新潟日报社
 特別協賛：大和ハウス工業協会新潟支部協力会
 大和ハウス工業株式会社新潟支店
 応募方法：ハガキでBSNに応募。抽選でペア500組1000名様を無料ご招待
 お問い合わせ：BSN岡田前監督講演会事務局/
 025-267-8655 (BSNイベントダイヤル)



編集後記
 従来までとは、若干内容を改めたNiFA News。如何だったでしょうか。大会結果は協会のホームページ、各地区や種別からの楽しい情報と、技術・審判の技術向上につながる情報はこの紙面です。時代の流れに沿った対応を進めていきたいと考えています。紙面掲載をご希望される情報の提供をお待ちしております。

美ら島沖縄総体に参加して 新潟県2級審判員 内山 翔太

7月30日(金)から8月3日(火)の5日間沖縄県で開催された高校総体に、高体連委員長の推薦を受け研修審判員として参加させていただきました。大会では、1回戦と2回戦の副審を担当しました。

今回の研修でのテーマは、①動き・ポジショニング、②主審と副審の協力でした。2試合とも副審を担当したためテーマ②を意識して試合に臨みました。いかにして主審をサポートするかが課題でした。1回戦で担当した試合では、オフサイド、ファールサポートの両方で副審1と副審2の間で旗を振るタイミングにズレがありました。普段、新潟で審判をしていれば特に気になる部分ではないのですが、この研修に出たことで、今までチームを組んだことがない県外の審判員とチームになり、気づいたことだと思えます。この事象で主審と各副審との関係だけでなく、副審同士の関係の重要性に気づくことができました。このズレを解消するためには、試合前の打ち合わせが非常に重要であると感じました。県外で審判を行うときだけでなく、県内で行うときも、今まで以上に気を遣いながら打ち合わせを行い、試合に臨みたいと思います。

夜の全体研修会では、①主審の責任感、②審判の仕事の2つのことを言われました。1つ目については、主審はレフェリーチームを引っ張るだけでなく、選手22人をリードしていく立場であることを理解しなければならない、ということです。試合の序盤で主審が自分の基準を示すことによって、副審がサポートしやすい環境になり、そのことでプレイヤーが競技に集中しやすい環境ができるのです。そのためには、強い意志を持って試合に臨まねばならないと学びました。

2つ目は、「監視」をすることです。また、何を監視していくかには「気づき」が必要で、気づき、経験を積んでいくことで判定の精度を高め、判定するために動くことはさらに重要です。動き(走力、態度、姿勢)は、チーム・選手のためになる判定をするために活用しなければなりません。そして、様々なことの「気づき」を持てるようになるためには、サッカーへの理解をもっと深めて、自分自身もサッカーを楽しむことが必要である、ということでした。

研修では、審判員が持つべき基本的な資質を学びましたが、私自身に欠けている部分が多いと感じました。特に、リーダーシップの面では、自身の心の弱さがゲームに出てしまうことがあり、これからの課題だと感じています。

この研修を経て、サッカーに関わるものとして、自分自身がサッカーを楽しみ、選手が最大限のプレーができる環境をつくり、観客も楽しめるような試合ができる審判になりたいと思いました。また、多くの試合を担当しながら自己の成長と共に、地域のサッカーの向上にも努めたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な経験の場を与えていただき、本当にありがとうございました。

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催される

「JFAこころのプロジェクト」が今年度も開催されています。9月7日には、長岡市立日吉小学校にて元日本代表の森山泰行氏を夢先生に迎えて実施されました。

前半は体育の授業でボールを使って汗を流し、後半は森山氏のサッカー人生を振り返る形で、夢について考える授業が行われました。その中で森山氏は、サッカーで何度も挫折を味わい、やめたくったこともあったが「あきらめない」「がんばる」「つづける」この三つができたことと、周囲の仲間や支えによって今がある、と熱く語られました。また「がんばっても評価されず、報われないことも多いが、そこまでやったことや学んだこと、出会った人たちが財産になるから、何もがんばらなかつた人よりも良い人生が送れる。」とがんばることの大切さを教える森山氏に、子どもたちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

最後に、子どもたち自身の夢の軌跡をシートに記入し、発表し合って閉会となりました。「僕もがんばりたい」「あきらめずに続けたい」などの声がかえり、興奮と感動が冷めやらぬ中、子どもたちは自分の夢や未来を見つめる貴重な経験となったようです。